

# 茨城県立鉾田一高等学校

## 総合的な探究

「たった1人の困りごと」からの  
地域探究

〜〜〜スマホアプリで課題解決〜〜〜



# I 取組の概要

- ▶ DXハイスクール事業を活用した授業設計（R6年度より採択校）

情報Ⅱ等「総合的な探究の時間については、数理・データサイエンス・AIの活用を前提とした実践的な内容に充実させる」

- ▶ 対象学年：１年・２年生 ４８０名
- ▶ 取組内容：「スマホアプリによる社会課題の解決」
- ▶ プログラム：「ワガママLab」（株式会社IRODORI）

## Ⅱ 授業の設計

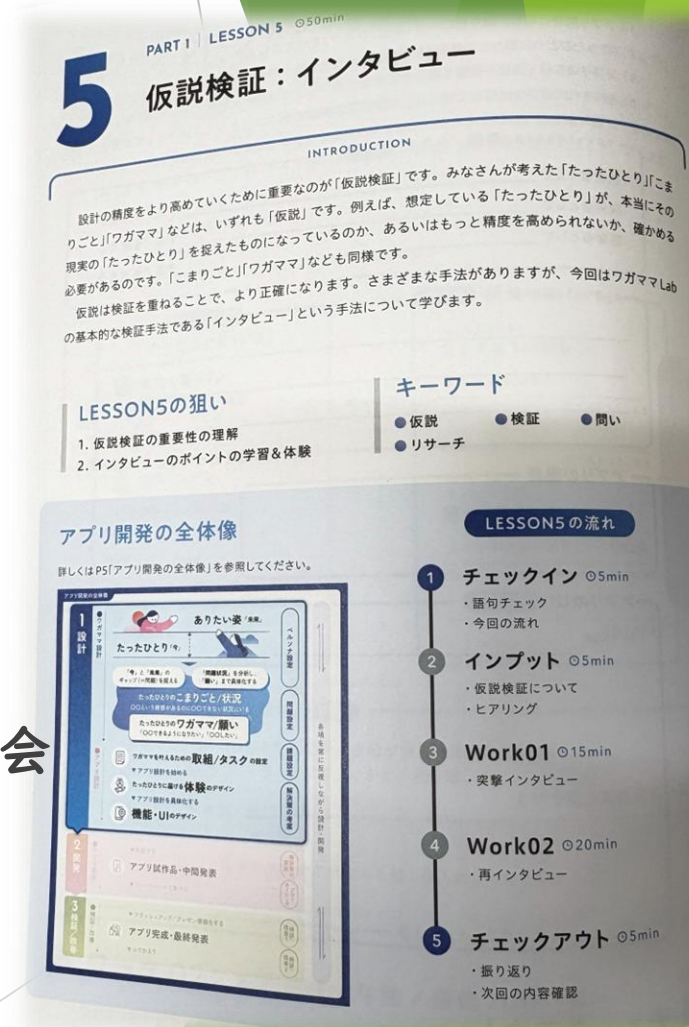
### ◎年間計画

#### 〔第1期〕

4月～7月：課題設定に必要な視点等、課題設定に関する学習

#### 〔第2期〕

9月～3月：課題の深掘り・アプリ開発&プロトタイプ・成果発表会



## Ⅱ 授業の設計

### ◎学習プログラムの構成とねらい

#### 〔生徒の視点〕

構成①「たったひとりのワガママ」設定を中心に、課題設定に必要な手法や視点等の学習

→ねらい 当事者意識に基づく課題設定能力を育成する

構成②「デジタル技術に関する学習」＋「スマホアプリによるプロトタイプ」

→ねらい 仮説＝検証の繰り返しによる探究の深化

※スマホアプリ開発による、プロトタイプ試行のハードルを下げる

## Ⅱ 授業の設計

### ◎実施方法

- ▶ 授業運営 株式会社IRODORI（R8年度・1年次は本校職員による運営）
  - ▶ 学習プログラム ワガママLab（株式会社IRODORI）
  - ▶ 教材 「スチームで学ぶ・つくる 探究学習」（株式会社IRODORI）
  - ▶ 学習の進め方 グループによる探究活動
    - ・ 1グループあたり4～5名で活動
    - ・ アプリ開発が始まると、技術担当と構想担当に分かれて活動
- 構想班（アプリのUI・機能等の設計） 技術班（プログラミング）



## Ⅱ 授業の設計



## 授業風景



# Ⅲ 取組の成果

## ◎令和6年度

### ▶ Japan Wgamama Award2025

ファイナル進出 3組

### ▶ 「第16回学生SDGsフォーラム」(茨城大学主催) SDGs賞(高校生の部)受賞

## Japan Wagamama Awards 2026ファイナル



## 第16回学生SDGsフォーラム SDGs賞(高校生の部) 受賞者が開発したスマートフォンアプリ



# Ⅲ 取組の成果

## ◎令和7年度

- ▶ Japan Wgamama Award2026  
ファイナル進出 1組
- ▶ DIGITAL YOUTH EXPO 2025  
～茨城県DXハイスchool発表会～

## ◎最優秀賞

- ▶ 「第16回学生SDGsフォーラム」(茨城大学主催)

## ◎優秀賞(高校生の部)

## DIGITAL YOUTH EXPO 2025 ～茨城県DXハイスchool発表会～



## Japan Wagamama Awards 2026ファイナル



Japan Wagamama Awards 2026

「Japan Wagamama Awards」は、10代のみならず学生近人のWagamamaを伸ばすアプリを開発し、地域をより良くするプロジェクトを奨励・発表するコンテストです。グランプリ受賞者はアメリカのマサチューセッツ工科大学で自分のプロジェクトを発表することができます。  
(奨励金も提供し、奨励金もサポート)

エントリーまでの流れ

- STEP 1 体験会に参加  
STEP 2 エントリー  
STEP 3 アプリ企画・開発  
STEP 4 アイデア提出  
STEP 5 審査で最終発表!

プログラム特徴

- 自分のアイデアがアプリになる
- 自分や仲間、人々の役に立つアプリを開発し、地域をより良くするプロジェクトを奨励・発表するコンテストです。
- 審査で最終発表!

応募要項

- 対象者 日本国内在住で、2026年3月時点で12歳以上19歳以下の方
- 参加人数 個人参加、もしくはチーム(最大4名)

グランプリはアメリカ・MITでの発表権利獲得! アワードについてはこちら▶▶▶

お問い合わせ 株式会社WOODR Japan Wagamama Awards 事務局 TEL: 03-6823-0836 受付時間: 平日10:00-18:00 MAIL: jwa@woodr-group.jp

# Ⅲ 取組の成果

## ◎令和7年度

### カゴメ株式会社との連携

- ・伴走（課題設定・プロトタイプへのアドバイス）
- ・探究成果発表会の審査員
- ・生徒との座談会



# 探究を通じて学んだこと

## 卒業生からのメッセージ

- ▶ 探究の授業を通して、まずは挑戦してみようという姿勢が身につきました。授業が始まる前はアプリ開発など全く身近なものではありませんでしたが、「こうなったらいいのに」という自分の思いを形にできることを知り、自分の可能性や行動力に自信を持てるようになりました。
- ▶ 「探究」は、高校生だからこそできる貴重な経験だと思います。私自身、探究の授業を通して新しい興味や視野を得ることができ、進路についての考え方も大きく変わりました。ぜひ楽しみながら取り組み、自分自身の可能性を広げる機会にしてほしいです！